

第4回（前回）委員会について

1. 第4回委員会の振り返り

- 安心して生産者を事業に従事させる仕組みを取り入れるなど、作っている方達の価値を入れていくと、もっと崇高な理念になるのではないか。
- 機能整理においては、想定ターゲットをどこかに入れた方が良いのではないか。ターゲットを誰に向けたものなのかを整理していくと、日常使いなのか、あるいはイベント的に利用するものなのかなどが整理できる。
- 「健康」と「にぎわい」は一見親和性がなさそうであるが、あえて掛け合わせるとすれば、資料に提示されている健康関連サービスをイベント化する、あるいは観光商品化するといったことが考えられる。
- 「健康」と「時間の過ごし方」で考えると、南新地の特徴は有明海に面する空間性にあり、そこでゆったり過ごしながら健康な食を味わうなどといったことが考えられる。
- 地元の食材を使って作ったモノが店頭にあったとしても、その良さは分かりにくい。モノの良さを知ってもらうこと、試食して味を知り、背景のストーリーも理解してもらうことが重要と感じている。それがリピーターにもつながり、南新地の応援団になってもらう仕掛けにもなるのではないか。
- 近隣施設との競合の視点からは、近隣施設が提供しているサービスとの比較でアイデアを評価することも重要と考える。
- 荒尾の農水産物としてフルーツに特徴があるということが分かった。荒尾でも他の地域にはないような地域性があるモノを供給していただけるのではないか。
- オリーブを活用した体験など、市内にあるレストランなどとも連携すれば、若い人にも喜ばれる企画ができるのではないか。
- 荒尾産の野菜や果物を使用したお菓子などを以前に作っている。梨タルト、梨クッキー、梨パイなど、色々作っており、それらをもう一度検証してみたらどうか。

○消費者が何を求めているかをもっと追究してもらい、新たに取り組んでももらいたいというものを示すことができれば、もっと若手の農家はやる気が出てくるのではないかと。消費者が求めるものを把握し、それを作っていくような努力も必要である。道の駅ができるまでの3,4年を準備期間として提案していくことも重要である。

○地元の商品を売ることで、地元の農家の所得を向上させたい、地域経済を循環させたいという思いが根底にある。

○施設規模について、大規模の道の駅は、荒尾市内では難しいと思っている。

○消費者にとって、道の駅に行けば何でも揃うというのは、一番の願いであると思うが、特に夏場は荒尾産の野菜はほとんどなく、阿蘇などの寒冷地から仕入商品として持ってくるしかない。大規模とすれば仕入商品もそれだけ増やさなければならない。

○小規模であれば、地場産ならではの商品として野菜・果物が揃うということになる。新鮮・安心・値頃な価格、この3つが揃えば、消費者にとっては、また買い物に行こうという気持ちになるかと思う。生産者にとっても、所得の向上につながるため、荒尾産ならではのという方向でスタートし、徐々に大きくしていった方がよいのではないかと。

○施設規模については、マーチャンダイジング(商品・場所・時期・数量・価格等の適正を計画するもの。)ベースで議論しなければ結論はでないと考えている。

○地域商圈として、建設が予定される場所は、恐ろしい競争条件があるということを前提しなければならない。10分～15分圏内に色々なお店が集合している。小規模タイプで日常買いの地元のお客様に使っていただく戦いができるのか。また、近隣道の駅の繁栄に及ばないところがあるのも事実であり、道の駅に隣接する店舗として、集客できる強い店舗が必要ではないかと。

○成功した例で見ると、市外・県外の方に来ていただくことで、そこが大きく伸びている事実がある。飲食を含めて2時間滞在してもらうことで、その分だけ購買意欲が出てくる。一方で、駐車場が満杯になる問題も起きる。

○健康とタイアップし、1泊2日のツアーを組み込むことなどにより、他にはないようなものができる。その中の一環として、RVパーク（キャンパーの泊まれる場所）は、九州ではまだ少ない。滞留型の集いの空間ができれば本当に素晴らしい形になる。

2. 意見を踏まえた施設機能（案）の提案について

にぎわい・活気

オリジナリティ

時間の過ごし方

本物・高品質

健康

自然

安全・安心

○本物 × 安全・安心 × オリジナリティ × にぎわい・活気 × 自然

⇒ 荒尾の四季折々の旬のものが贅沢に味わえる食のイベント

⇒ 道の駅版「ふるさと四ツ星市場」

※ふるさと四ツ星市場・・・荒尾市最大のお祭り「あらお荒炎祭」の催し。最上級を意味する三ツ星に「荒尾のおもてなしの心」をプラスした「四ツ星級の料理・特産品」を提供する大物産展

○安全・安心 × 本物・高品質 × オリジナリティ

⇒ 環境に配慮した荒尾ならではのモノが買える

⇒ ファーマーズマーケット（エコファーマー、減農薬減化学肥料野菜）

○時間の過ごし方 × 安全・安心

⇒ 小さな子供を連れて一日中遊ぶことができる

⇒ 公園や緑地帯でピクニック。安心安全な荒尾の食材で作ったお弁当を提供

○にぎわい・活気 × 時間の過ごし方

⇒ 家族、グループでゆったりと参加できる食のイベント

⇒ 芋煮会など

○自然 × 健康

⇒ 四季を感じながら心身ともに健康になれる食の提案

⇒ 荒尾産のこだわり野菜の販売と、それらを使った食事や惣菜などの提供

○自然 × オリジナリティ

⇒ 市民もあまり知らない有明海を五感で感じる食

⇒ 新たなメニューや特産品・加工品の開発

○オリジナリティ × 自然 × 安全・安心

⇒ こだわり野菜の販売と、それらを使ったメニューの提供、食材や加工品の販売

⇒ ・道の駅に出荷するこだわり野菜を作付けしてくれる農家を育成し、年間を通した品物の充実

・こだわり野菜を使った無添加の加工品やお弁当・お総菜などを提供

・子育て世代が夕食のおかず、安心して購入できるものを提供